

決算カードを見るときに必要な指標

【実質収支比率】

財政収支を見るための代表的な指標
一般的に3～5%が適正な範囲

【経常収支比率】

財政の弾力性の度合いを判断する指標
この数値が100%に近いということは、経常的な収入で経常的な支出を賄えない状態。
預貯金を取り崩すか、借金をしてかろうじて財政を支えているという状況。
一般的に、70～80%が「適正」な範囲

【公債費負担比率】

地方債の元利償還金等の「公債費」に充当された一般財源が、
一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標。
一般的に15%を超えると「警戒ライン」、20%を超えると「危険ライン」といわれている。

【基金】

年度間の財源調整や特定目的のための財源確保の一環として、
年度の財政運営の中で一定額を積み立て管理。
自治体の持っている現金。